

大型コンクリート製品

記事提供：(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会

令和2年 10～12月期の出荷状況は、前年同期比+36%と増加したものの、依然として低い水準である

出荷量は、スノーシート・シェルター類が50%で、管外だが福井県と福島県内に納入された。次いで大型ボックスカルバートが29%で、新潟国道の紫竹山道路・新潟県小千谷市道路改良・富山県氷見市橋梁補修工事に納入された。次いでダム監査廊が15%で、全て管外だが秋田県成瀬ダム・大分県玉木ダム・岐阜県内ヶ谷ダムに納入された。残りは、コンクリート舗装版が6%で、新潟国道管内の桜木インターと管外だが仙台航空基地に納入された。側溝類は納入はない。

大型コンクリート製品出荷量の推移 (単位：対前年比%、千t)

県名	令和元	令和2年度				備考
	年度計	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
新潟県	▲74	▲∞	+51	+15		
	2.30	0.00	1.10	1.80		
富山県	+250	+800	+190	+∞		
	0.15	0.27	0.29	0.33		
石川県	▲∞	▲∞	▲∞	▲∞		
	0.00	0.00	0.00	0.00		
3県計	▲75	+800	+67	+36		
	2.45	0.27	1.39	2.13		

(注) 大型コンクリート製品とは、大型ボックスカルバート(幅4m高3m以上で分割製作されたもの)、長さ5m以上の長尺側溝類、監査廊、コンクリート舗装版(融雪舗装版を含む)、スノーシート、スノーシェルターをいう。

『一般社団法人 北陸土木コンクリート製品技術協会』 <http://www.hokudocon.jp>